



やまぐち

議会だより

No. 136
2012.7.15発行

役場屋上から見た山田地区



船越小学校の地域安全パレード（田の浜地区）

6 月
定例会

一般会計補正予算、331億円を可決 — 2P

議決議案ダイジェスト — 3P

町の考えを聞く — 4P

議会改革検討特別委員会を設置 — 8P

補正予算審議

一般会計に331億6012万円を追加 防災集団移転事業などに着手



6月定例会の様子

6月定例会は、6月7日から8日まで2日間の会期で開かれました。一般質問（4時～7時に掲載）には4人が登壇し、復興計画やがれき処理について質問。土地の買い上げや土地利用計画、がれき処理計画の今後の見通しについていただきました。また、平成23年度の一般会計と各特別会計の専決処分を承認し、そのほか、331億円を超える24年度一般会計補正予算など9件をすべて原案どおり可決し会期を閉じました。

平成23年度予算額とほぼ同額の331億6012万円を追加する24年度一般会計補正予算が提案され、審議の結果、原案どおり可決されました。

今回の補正は、国から震災復興特別交付税や復興交付金が交付されたことに伴い、管理運営基金への積み立てや防災集団移転などの復興事業に着手するものです。

▽その他基金費（復興交付金管理運営基金積立金）	8億9200万円	▽漁業集落防災機能強化費（事業施工管理、調査等委託料）	8億2400万円
▽防災集団移転費（織笠地区用地費）	218億1519万円	▽漁業集落防災機能強化費（大沢地区用地費）	6億1300万円
▽防災集団移転費（各市区町村）	35億5500万円	▽土地地区画整理費（各市区町村画整理委託料など）	3億8193万円
▽防災集団移転費（各市区町村）	26億900万円	▽津波復興拠点整備費（山田地区施行管理委託料）	1億9700万円
▽道路事業費（各市区町村）	12億2460万円		
▽道路事業費（各市区町村）	12億2460万円		
▽道路事業費（各市区町村）	12億2460万円		

議決議案ダイジェスト

一般議案

- 山田町公共下水道前須賀中継ポンプ場の災害復旧事業に係る建設工事委託に関する変更協定の専決処分の報告
協定金額を400万円減額したことの報告を受けました。
- 繰越免許費繰越計算書についての報告
- 繰越計算書（水道事業会計）についての報告
共同利用漁船等復旧支援対策事業や災害復旧事業など、翌年度に繰り越す事業とその金額について報告を受けました。
- 山田町過疎地域自立促進計画の変更に関する議決
計画に民間保育所整備支援事業を追加しました。
- 岩手県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更の協議に関する議決
住民基本台帳法の一部改正に伴い、規約の整備をしました。
- 小谷鳥漁港災害復旧（南防波堤その1）工事の請負契約の締結に関する議決
小谷鳥漁港のケーソン製作などの工事の請負契約を締結しました。
受注者 株式会社 山元
請負金額 5億6,595万円
- 小谷鳥漁港災害復旧（南防波堤その2）工事の請負契約の締結に関する議決
小谷鳥漁港の消波ブロック製作などの工事の請負契約を締結しました。
受注者 株式会社 山元
請負金額 2億8,875万円

請願

- 2013年度の国の予算編成に向けて、30人以下学級実現を求める請願
請願者 岩手県教職員組合下閉伊支部
支部長 下瀬川 里志
紹介者 本木 敏明議員
審議の結果 原案採択（議員発議で意見書提出）
※意見書の提出先
衆議院議長、参議院議長、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣
- 医療従事者の増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める請願
請願者 岩手県医療労働組合連合会
執行委員長 中野 るみ子
紹介者 木村 洋子議員
審議の結果 原案採択（議員発議で意見書提出）
※意見書の提出先
内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣、岩手県知事

予算関係

- 【平成23年度】（専決処分の承認）
- 一般会計補正予算（第9号）
13億6,245万円を追加。総額340億238万円。
- 国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）
7,998万円を追加。総額32億4,064万円。
- 後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
5,033万円を減額。総額9,514万円。
- 介護保険特別会計（事業勘定）補正予算（第4号）
662万円を減額。総額13億5,495万円。
- 介護保険特別会計（サービス事業勘定）補正予算（第2号）
19万円を追加。総額445万円。
- 簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）
3万円を追加。総額4,487万円。
- 漁業集落排水処理事業特別会計補正予算（第6号）
6,075万円を減額。総額4億4,704万円
- 公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）
1,596万円を減額。総額4億3,698万円。
- 水道事業会計補正予算（第6号）
収益的収入に1,076万円を追加。総額1億6,233万円。
資本的収入から4,908万円を減額。総額3億5,998万円。
資本的支出から6,500万円を減額。総額4億1,665万円。

- 【平成24年度】
- 一般会計補正予算（第1号）（専決処分の承認）
3億9,790万円を追加。総額226億2,029万円。
- 一般会計補正予算（第2号）
331億6,012万円を追加。総額557億8,041万円。
- 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
230万円を追加。総額1億3,511万円。
- 公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
862万円を減額。総額1億4,607万円。

条例関係

- 山田町町税条例の一部改正（専決処分の承認）
地方税法等の一部改正に伴い関係条項の整備をしました。
- 山田町印鑑条例の一部改正
住民基本台帳法の一部改正及び外国人登録法の廃止に伴い、関係条項を改めました。

人事案件

- 教育委員の任命につき同意を求めることについて
教育委員に長崎千秋さん（45）＝豊間根＝を任命することに同意しました。

（こ）（と）（は）

【専決処分】

本来地方公共団体の長の議会の議決・決定を経なければならぬ事柄について、地方自治法の規定に基づいて議会の議決・決定の前に地方公共団体の長みずからが処理すること。「設計変更により工事請負の契約金額を500万円の範囲内で変更する場合」などの制限がある。

【ケーソン】

防波堤の水中構造物として使用されるコンクリート製の大型の箱。

町の考えを聞く



本木敏明議員

集団
移転

住居以外の買い上げは 可能の見通し

質問 町は計画の中で、防災集団移転事業に伴い、地権者が土地の買い上げを希望した場合、住居部分だけでなく専用店舗や駐車場への拡大を国へ要望しているが、その可能性は。

沼崎町長 大型の店舗や工場は難しいが、中小のもの買い上げは可能の方向へ向かっているものと思う。

質問 買い上げの可能性が出てきたことは大いに歓迎するが、それにより買い上げ単価が下がることはないか。

沼崎復興推進課長 買い上

げ範囲の拡大により単価が下がることはないが、宅地や農地、原野などのおおのの評価の違いは従来どおりである。

質問 買い上げ価格の参考になる町内の標準価格が先ごろ県から示された。買い上げ時期が遅くなるほど評価が下がる心配はないか。

沼崎復興推進課長 全国的な地価の下落傾向で下がることはあると思うが、大幅に下がることは想定していない。遅くても平成25年度中には買い上げを始めた

そのほかの質問

◆個人住宅建築への補助金について
◆復興計画などにより
などの発信について

土地利用

町中心部の計画は

まだ決まっていない

質問 町中心部の国道45号沿いの土地利用計画の具体案を早く示すべきでは。

沼崎町長 JRの問題、国道、防潮堤など関係機関と協議中のため、町だけでは確定できない。問題点を整

町の考えを聞く

復興計画

災害に強い町づくりを

そのつもりで計画している

質問 今回の大震災を教訓として災害に強い町づくりを進めなければならぬ。その際に災害の検証から始めることは当然であるが、その検証から導き出された計画の具体案をいくつか示せ。

沼崎町長 居住地と産業地のすみ分け、高台間道路や避難路の確保など、安全・安心の町づくりに検証が生かされていると思う。

質問 今回の大火は不可抗

力であったかも知れないが、消火活動の限界も感じた。今後中心部の道路の幅や市街地のブロック化など、延焼を防ぐ町づくりの必要性を強く感じるが。

沼崎復興推進課長 土地区画整理事業で道路幅を確保し、中心市街地に防災広場などを設けて延焼を防止したい。

また、スムーズな避難ができるように避難路の確保に努める。

だけ全ての土地を買い上げて町有地とすれば、区画整理の必要はなくなる。

使いやすい産業地として活用し、希望者には貸し出しもして産業の振興に役立てたい。

理し早く示したい。
質問 店舗や事務所、作業場などを建設しても、約10年後には区画整理の対象となり、さらなる移動や建て替えがあるのでは。
沼崎復興推進課長 できる



尾形英明議員

がれき処理

進捗状況と今後の見通しは

処理率5・2%、独自でも処理

質問 震災から1年3カ月、本町のがれきも静岡県等に受け入れていただき徐々に片付いてきたが、進捗状況は。また、今後の見通しは。県に任せきりでなく、町独自で処理計画を立て、地元業者に発注する考えはないか。

沼崎町長 震災による本町の災害廃棄物の総量は54万1600トンと推計してい

る。処理量は約3万トンで、5・2%の処理率である。災害廃棄物については、仮置き場までの運搬を町で行い、それ以降については県に処理を委託しており、広域処理の推進など、県と連携を図り進めていく。漁網、漁具などの廃棄物については、早期復旧を図るべく町が独自で処理を行っている。

農林被害

放射性物質の汚染対策は

損害賠償請求できる

質問 ①生シタケの出荷規制による損害賠償請求ができるのか。

②マツタケ等に検出された場合の補償はあるのか。また、マツタケの卸業者にも該当するか。

沼崎町長

①東京電力東北補償相談センターから補償の考え方などの説明を受けたので、損害賠償請求ができる。

②生シタケと同様である。マツタケ等が基準値を超えた場合、これを生業としてしている方にも損害賠償請求の指導をする。

議員4人が一般質問

建設行政

道路維持管理の充実を

災害復旧事業等で対処

質問 町道の舗装路面に亀裂や穴ぼこ、豪雨による路肩決壊などの道路災害が見受けられる。早急に調査し対処しては。

沼崎町長

町道の傷みや豪

雨などの災害による被害については、通報による現場確認や道路パトロールを実施し、維持補修事業や災害復旧事業等により対処している。



がれき処理の様子



木村洋子議員

建設行政

浄化槽設置の推進を

募集枠を超えて補助

るが町の考えは。

質問 ①合併処理浄化槽の設置希望者全員に補助金を支給すべきと考えるが、補助はどの程度なされているか。

②豊間根地区の場合、水質保全のためにも、早急に下水道の整備が必要であ

沼崎町長

①2月の広報やまだで平成24年度の設置希望者の募集をしたところ、募集基数20基に対し、32基の申し込みがあった。申し込まれた方の多くが被災者であることから、募集

枠を超えた12基分は町の単独費で手当てし、希望者全員に補助する。

また、従来の標準施工金額の4割補助から5割補助となるよう上乘せして助成を行っている。

②震災からの復旧・復興を優先し、当面、豊間根地

質問 豊間根の稲作を守るためにも汚水処理は急ぐべきでは。

豊間根農林課長 豊間根・荒川地区の水田については、用水の中に浄化槽からの排水が入らなくなるよう、県が平成27年度までに整備する計画である。

区全域については、町の上乗せ助成等により、合併処理浄化槽での汚水処理を進めていきたい。

福祉行政

震災関連死の状況は

50件中35件を認定

質問 震災関連死認定の状況について問う。

沼崎町長 町では、平成23年9月に独自で山田町災害弔慰金支給審査会を設置し、認定事務の迅速化を図っている。審査会は今まで6回開催し、50件を審査している。結果は認定35件、不認定8件、審査継続が7件で、24年5月10日に

開催された審査会後に新たに14件の申請があった。関連死については23年12月号と24年6月号の広報やまだに掲載し、周知を図っている。窓口業務については、今のところ問題ない。

質問 関連死が認定され弔慰金が支給されれば、遺族にとってこれからの生活の支えになり、歩みだすため

尾形健康福祉課長 肺炎が大部分である。

質問 避難所で体調を崩され脳梗塞となり、合併症として肺炎を併発し亡くなった人もいる。避難所の運営や管理等で防げた死もあったのではと考えるが、避難所のあり方などはどう考えているか。

尾形健康福祉課長 これから検討させていただく。

そのほかの質問

- ◆子供の医療費の無料化について
- ◆県立山田病院の再建について
- ◆山田町の放射能汚染の実態と対策について

町の考えを聞く

町では、平成23年9月に独自で山田町災害弔慰金支給審査会を設置し、認定事務の迅速化を図っている。審査会は今まで6回開催し、50件を審査している。結果は認定35件、不認定8件、審査継続が7件で、24年5月10日に

1日でも早く復興の姿を示すべき

速やかに事業着手する

復興事業



豊間根信 議員

質問 震災後1年3カ月余りが過ぎた。いまだに大変な状況を強いている現状は変わらない。それでも町民の皆さんは立ち上がろうと一生懸命に頑張っている。夢と希望が見えなければ町は衰退の一途をたどっていく。

今日まで町内各地域と理解を深め話しあってきた。その成果をしっかりとした計画として町民に示し希望を与えるべきではないか。

沼崎町長 計画を実現させるために必要な財源も、事業費ベースで321億円余りの配分を受け、平成24年を復興元年と位置づけ、事業実施に向け途に就いたところである。

主な生活基盤整備はこれからだが、事業実施に必要な埋蔵文化財調査など鋭意進め、同意形成が整った地域については、速やかに事業着手を進めていきたい。

議員4人が一般質問

事業計画

新エネルギー施策を

補助制度を創設

質問 3・11の反省を踏まえ、脱原発、クリーンな新エネルギーに対する需要はますます増え続けていく。産業振興・雇用と多様な効果を生み出す事業等の計画について問う。

町長 町民の注目度も高

まっている。メガソーラーシステム設置に向けて業者からの問い合わせもあるが、広大な平地が必要というところで現在は検討段階である。町独自施策として住宅用太陽光発電システム設置補助制度を実施する。

緊急雇用

事業精査と検証を

離職者へ大きく寄与

質問 雇用の場の確保、生活再建・支援、いろいろな考えのもとに緊急雇用策を実施してきた。その効果と内容、反省と検証、今後の方向について問う。

沼崎町長 平成24年度は現在のところ、45事業、新規雇用者372人、事業費約13億3900万円を見込んでいる。効果としては、震

災により離職を余儀なくされた方への雇用創出、収入の確保に大きく寄与したと認識している。被雇用者がスキルアップをしていただき、一人でも多くの正規雇用につながることを期待している。

質問 復興を目指している町内企業から事業に対し要望・意見はないか。委託先

の運営、会計などの状況を把握し効果を検証しているか。その詳細資料を提出願いたい。

甲斐谷総務課長 いろいろな要望・意見は届いているのは事実である。調査し指導・管理をしていく。

上林企画財政課長 平成24年度の緊急雇用委託事業の内容一覧を提出する。

そのほかの質問

◆がれき処理について

議会改革検討特別委員会設置



6月定例会において議長を除く議員全員で組織する「山田町議会改革検討特別委員会」を設置し、互選により委員長に山崎幸男議員、副委員長に豊間根信議員、吉川淑子議員が決まりました。これから平成27年3月31日まで議員定数や議員報酬、通年議会など、議会運営全般に関して議論していきます。

請願(陳情)書の出し方

<表紙>

請願(陳情)書

紹介議員氏名印

<内容>

平成 年 月 日

山田町議会議長(氏名)様

請願(陳情)者の住所
氏名印

〇〇〇〇についての請願
(陳情)

<要旨>

<理由>

町民の皆さんの意見・要望などを町政に反映させる一つの方法として、請願・陳情があります。請願書は一人以上の紹介議員(無いときは陳情書とする)の署名または記名押印が必要です。請願(陳情)の要旨、理由を記載し、住所、氏名を書き、押印して議長あてに提出してください。

議員出欠表

◎病欠入院 □公務欠席
△遅刻早退 ○自己都合

月日	本会議種別	欠席者等氏名
6月7日	第2回定例会	欠席者等なし
6月8日	"	欠席者等なし

木下志き子議員は、6月27日付けで議員の辞職願を提出し、議会閉会中につき議長が辞職を許可しました。

木下志き子氏

明日の山田が見えてくる

皆さんで議会を傍聴しましょう

平成24年第3回定例会は、9月下旬に開会の予定です。

あ
と
が
き

▼議員に当選して今回で4回目の定例会を経験させていただきました。自分にとって逆の立場での行動に戸惑い、職員に大変ご迷惑をお掛けしているのでは。でも議員とは地域住民の声を議会に届け、山田町を住みよい町にするのが使命だと思っています▼この議会だよりがお手元に届くときには新しい町長が誕生していると思います。あなたが選んだ町長ですか。これから4年間行政を任せなければならぬ人ですね▼町が震災で大変な時期の新人町長、期待されて当選したのですから山田町のために議員と一緒に頑張って頑張りましょう。町民の不安を1日も早く解決し、安心・安全な新しい町を築くため。(尾形)

議会広報編集特別委員会

- | | | | |
|---|----|----|----|
| 議 | 委員 | 委員 | 委員 |
| 長 | 長 | 長 | 長 |
| 黒 | 山 | 尾 | 本 |
| 一 | 崎 | 本 | 坂 |
| 暉 | 村 | 形 | 尾 |
| 一 | 英 | 敏 | 本 |
| 暉 | 洋 | 敏 | 坂 |
| 成 | 泰 | 英 | 尾 |
| 雄 | 子 | 明 | 本 |
| | 昌 | 正 | 坂 |
| | 成 | 明 | 尾 |
| | 雄 | 正 | 本 |